

国内クレジット認証委員会御中

実績確認概要書

平成 24 年 6 月 28 日

審査機関名 株式会社日本スマートエナジー

1. 排出削減事業計画の概要

排出削減事業名	メロン栽培農家における重油焚き温水ボイラーから木質バイオマス焚き温水ボイラーへの燃料転換事業
承認番号	JCDM-PJ0033
排出削減事業者名	遠州木質燃料利用組合
排出削減共同実施事業者名	ソニー株式会社 (その他関連事業者名：株式会社丸文製作所、 エム・ティー・ディー株式会社)
事業実施場所	組合員①：静岡県袋井市 組合員②：静岡県周智郡 組合員③：静岡県袋井市 組合員④：静岡県袋井市 組合員⑤：静岡県磐田市 (個人情報保護のため、組合員の氏名、住所を非開示)
事業の概要	メロン栽培農家において栽培施設内の加温用温水の熱源となっている重油焚き温水ボイラー設備を木質バイオマス焚き温水ボイラー設備に更新することにより燃料転換を図るものである。
排出削減量の計画	1,382 t CO ₂ /年 (事業実施期間合計 5,528tCO ₂)
国内クレジット認証期間	事業開始日 2009年4月1日 終了予定日 2013年3月31日
排出削減方法論	方法論番号 001-A ボイラーの新設

2. 本実績確認の対象期間

2011年4月1日～2012年3月31日（第3回目実績報告）

3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	859 tCO ₂ （2011年4月1日～2012年3月31日）
-------	---

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていること	排出削減量は、承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていることを確認した。 1) 承認排出削減事業計画通り、重油焚き温水ボイラーを更新し木質バイオマス焚き温水ボイラーが導入されていることを木質ペレットの購入実績等により確認した。 2) 本実績報告期間において導入設備が稼働していることを、本実績報告期間における木質ペレットの購入実績により確認した。 3) 事業開始日が承認排出削減事業計画通りであることを、木質ペレットの購入実績や関係者への質問により確認した。 4) その他の変更として、当組合の構成員が、承認排出削減事業計画時点における6組合員から、1事業者の脱退により5組合員となっていることを確認した。本変更は承認要件に関わらない軽微な変更として、第一回実績報告の際に変更報告済みである。
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていることを確認した。 1) モニタリング方法については、承認事業計画に従って、木質ペレット使用量の購入伝票及び燃料購入確認書を保管していることを確認した。 2) 木質ペレット使用量については、購入伝票の担当責任者

	<p>の元、適切に把握され、正確に集計され、適切に記録・保存されていることを確認した。</p> <p>3) 排出削減量の算定式および使用されている単位発熱量、排出係数等が排出削減方法論及び承認排出削減事業計画通りであることを確認した。</p> <p>4) 事業実施後排出量、ベースライン排出量、リーケージ排出量、排出削減量の算定結果をモニタリング結果と突合、方法論の定めた計算式との照合、計算過程の確認、再計算等を実施した結果、排出削減量の算定結果が正確であることを確認している。</p> <p>5) その他、排出削減量の算定において重大な変更はなされていないことを確認した。</p>
<p>算定期間が 2013 年 3 月 31 日を超えないこと</p>	<p>本実績確認の対象期間は、2011 年 4 月 1 日～2012 年 3 月 31 日までであり、排出削減量を算定した期間が 2013 年 3 月 31 日を超えないことを確認している。</p>

5. 特記事項

確認した排出削減量（クレジット量）に相当する再生可能エネルギー量について、熱量換算 12,715GJ であることを確認した。